

Ⅱ 指導上の参考事項

1 ピーマン品種「F₁土佐グリーンB」

1 背景と特徴

現在栽培されているピーマンの品種は長岡交配エースが主体であるが当场において品種比較試験を行なった結果、F₁土佐グリーンの収量性が優れ、品質でも果色や光沢が劣るものの市場の評価が高いことからピーマンの有望品種として参考に供したい。

2 技術の内容

F₁土佐グリーンBの特性

草形はエースに比べ開張性がやや強いが草勢、葉の大きさは同程度とみてよい。果形は大別してややしわのあるベル型であり、ししとう型に近い。果色は薄緑で光沢がやや劣る。初期(6月)の収量はエースに比べやや劣るが総収量は多い。規格別でも中心規格のM級率(25~35%)が多い。

品種の育成元 南国育種研究農場

3 普及上の留意点

育苗日数は75~80日でよいが栽植距離は畦幅90cm、株間45cmとし透明マルチ栽培とする。草形が開張性であることから枝の下垂を防ぐため畦の両側に針金を張る。(畦の両側に杭を立て、16番線の針金を高さ約70cm程度に張り、枝を誘引する。)

4 試験成績の概要

(1) 試験課題名 ピーマンの品種比較試験

(2) 試験年次及び場所 昭和52年 岩手県園芸試験場本場

(3) 試験方法

1) 供試品種 長岡交配エース外7品種

2) 面積及び区制 1区9.9m² 1区制

3) は種期 3月14日

定植期 5月28日(赤外線マルチ)

4) 施肥量(10a当りkg)

51年……N-27.8 P₂O₅-30.2 K₂O-27.8

52年……N-29.4 P₂O₅-32.5 K₂O-29.4

(堆肥一両年とも4,000)

(4) 試験結果

1) 収量についてはエースに比較し、31.2%の増収を示した。時期別収量では6月の初

期の収量はやや劣るものの、9月の後期収量が明らかに優る傾向を示した。F₁土佐グリーンB以外の品種では翠玉2号の収量が高く、特に後期収量が優ったが市場性は未検討である。

2) 果形はベル型でエースと類似しているが果色が薄緑で光沢がやや劣る。

(5) 主要成果の具体的データ

第1表 特性調査(8月23日)

(昭和52年)

品 種	項 目 果 実 (cm)		重 量 (g)	果 形	果 色	光 沢	揃 い	品 質	草 形	草 勢	葉 の 大 小
	長 さ	幅									
エース	7.6	4.8	39.3	ベル型	緑	良	良	良	半開張	中	中
ニューエース	6.2	4.6	34.9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
翠玉2号	6.8	4.7	34.7	〃	〃	〃	不良	やや良	立性	強弱	〃
栄光	6.5	4.9	39.0	〃	〃	普通	〃	良	半開張	強弱	小
F ₁ 土佐グリーンB	6.8	4.9	35.6	〃	薄緑	〃	良	やや良	開張性	中弱	中
キング	6.1	5.1	39.5	〃	〃	不良	不良	〃	立性	弱	大

第2表 時期別収量(10株当たり)

(昭和52年)

品 種	項 目 収 穫 期 月/日	50g未満		50g以上		乱形果		病 果 数	良果の計		合 計	
		個 数	重 量 g	個 数	重 量 g	個 数	重 量 g		個 数	重 量 g	個 数	重 量 g
エース	6/9~30	24	355	0	0	2	33	—	24	355	26	388
	7/1~31	36	1,305	2	159	12	460	—	38	1,464	50	1,924
	8/1~31	183	7,237	29	1,695	26	935	1	212	8,932	238	9,867
	9/1~30	122	4,490	40	2,527	1	25	1	162	7,017	163	7,042
	全期計	365	13,387	71	4,381	41	1,453	2	436	17,768	477	19,221
ニューエース	6/9~30	16	320	—	—	1	17	—	16	320	17	337
	7/1~31	41	1,477	1	55	7	294	—	42	1,532	49	1,826
	8/1~31	185	6,525	18	1,001	44	1,390	—	203	7,526	247	8,916
	9/1~30	110	4,154	22	1,206	2	54	—	132	5,350	134	5,414
	全期計	352	12,476	41	2,262	54	1,755	—	392	14,738	447	16,493
翠玉2号	6/9~30	16	246	—	—	2	51	—	16	246	18	297
	7/1~31	47	1,712	6	343	1	25	—	53	2,055	54	2,080
	8/1~31	239	8,657	24	1,344	66	460	3	263	10,001	329	10,461
	9/1~30	195	7,617	33	1,898	4	108	1	228	9,515	232	9,623
	全期計	497	18,232	63	3,585	73	644	4	560	21,817	633	22,461
栄光	6/9~30	3	49	—	—	—	—	—	3	49	33	49
	7/1~31	41	1,461	1	57	8	234	—	42	1,518	50	1,752
	8/1~31	176	6,442	7	484	35	1,085	2	182	6,926	218	8,011
	9/1~30	77	2,662	20	1,253	5	208	1	97	3,915	105	4,123
	全期計	297	10,614	28	1,794	48	1,527	3	325	12,408	373	13,935
F ₁ 土佐B	6/9~30	8	122	—	—	4	90	5	8	122	12	212
	7/1~31	73	2,025	2	103	22	616	1	75	2,123	97	2,744
	8/1~31	269	8,582	5	273	67	2,092	3	274	8,855	341	10,947
	9/1~30	424	12,150	1	57	17	415	9	425	12,207	442	12,622
	全期計	774	22,879	8	433	110	3,213	18	782	23,312	892	26,525
キング	6/9~30	—	—	—	—	3	68	—	—	—	3	68
	7/1~31	19	692	4	218	3	99	—	23	910	26	1,009
	8/1~31	173	5,350	3	163	5	189	3	336	5,513	341	5,702
	9/1~30	77	1,845	7	400	1	20	1	84	2,245	85	2,265
	全期計	269	7,887	14	781	12	376	4	283	8,668	295	9,044

第3表 10a当たり時期別収量と収量比(良果重量)

(昭和52年)

時期 品 種	総収量	初 期		中 期		後 期	
		6/9~7/31	比 率	8/1~31	比 率	9/1~30	比 率
エ ー ス	kg 4,387	kg 450	10.3	kg 2,205	50.2	kg 1,732	39.5
ニ ー エ ー ス	3,639	457	12.6	1,858	51.0	1,324	36.4
翠 玉 2 号	5,387	568	10.6	2,469	45.8	2,348	43.6
栄 光	3,064	386	12.6	1,711	55.8	967	31.6
F ₁ 土佐グリーンB	5,755	556	9.7	2,186	37.9	3,013	52.4
キ ン グ	2,140	225	10.5	1,361	63.6	554	25.9

第4表 品質別収量(10株当たり)

(昭和52年)

項目 品 種	良 果				乱 形 果		病 果 数	良果の計		合 計		一平 均 重 量	重 量 (良 果 比)
	50g未満		50g以上		個数	重量		個数	重量	個数	重量		
	個数	重量	個数	重量									
エ ー ス	365	13,387	71	4,381	41	1,453	2	436	17,768	477	19,221	40.3	100.0
ニ ー エ ー ス	352	12,476	41	2,262	54	1,755	0	393	14,738	447	16,493	36.9	32.9
翠 玉 2 号	497	18,232	63	3,585	73	644	4	560	21,817	633	22,461	35.5	122.8
栄 光	297	10,614	28	1,794	48	1,527	3	325	12,408	373	13,935	37.3	69.8
F ₁ 土佐グリーンB	774	22,879	8	433	110	3,213	18	782	23,312	892	26,525	29.8	131.2
キ ン グ	269	7,837	14	781	12	376	4	283	8,668	295	9,044	30.7	48.7

※ 1個平均重は乱形果を含む。

5 残された問題点

- (1) 整枝法の検討
- (2) トンネル栽培の検討

6 参考資料 岩手県園芸試験場昭52野菜試験成績書

2 夏秋キュウリ台木品種「松島交配強力新和南瓜」

1 背景と特徴

夏秋キュウリのつぎ木用台木品種は主にハウス栽培用の黒ダネ南瓜(フィシフォリア)が使用されている。黒ダネ南瓜は他の台木品種に比べ低温伸長性、収量性が優れている反面、胚軸が短く、種子選別なしでは発芽揃いが悪いなどの欠点がある。

夏秋キュウリ栽培では低温伸長性よりも夏期高温による品質低下が問題となっているが、夏期品質向上を重点に台木品種を検討した結果、「松島交配強力新和南瓜」が品質的に有望であり、収量性の高い黒ダネ南瓜とほぼ同等に使用できると考えられることから、夏秋キュウリのつぎ木用台木品種として参考に供したい。